

～下記の研究を行います～

『急性期病院における看護師を中心とした入退院支援の有用性』

【研究代表機関】 大阪大学大学院医学研究科保健学専攻看護実践開発科学講座

【共同研究機関】 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター
独立行政法人 国立病院機構 大阪南医療センター

【研究代表者】 竹屋 泰

【研究の目的】 急性期病院に入院し、入退院支援が必要な高齢者の方を対象に、入院時支援加算・入退院支援加算 1 の導入に伴い入院日数や再入院率の有用性を明らかにします

【研究の期間】 研究許可日～西暦 2025 年 3 月 31 日

【研究の方法】

■対象となる患者

研究許可後、独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターならびに独立行政法人 国立病院機構 大阪南医療センターに入院し、自宅退院した 65 歳以上の心不全患者。

■使用する情報の種類

- ①基本情報:年齢、性別、身長、体重、入院前の生活環境(独居、同居、施設)
- ②身体情報:ADL(自立、一部介助、全介助)、認知症の有無、精神疾患の有無
- ③医療情報:主疾患、既往歴、入院形態(予定入院か緊急入院)、入院日数、入院時ならびに入院日に最も近い検査値データ(ALB、Cr、eGFR、BNP)、入院時ならびに入院日に最も近い LVEF・NYHA・投薬数、退院後の死亡の有無、退院後 6 週間以内の再入院の有無、入院前の在宅酸素の有無、転帰(自宅退院、転院、施設、死亡)、退院前カンファレンスの有無
- ④医療資源情報:要介護区分(非該当～要介護 5)、訪問看護師の利用の有無、ヘルパーの利用の有無、訪問リハビリの利用の有無、在宅医の利用の有無、デイサービスの利用の有無

■外部への情報等の提供

上記の上表を大阪大学(研究代表者:大阪大学大学院医学研究科 保健学専攻看護実践開発科学講座 竹屋泰)へ提供します。情報の提供は、提供者の氏名がわからない状態(匿名化)にして、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

情報は研究責任者が保管・管理します。

【研究の資金源】

なし

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI（シーオーアイ）：Conflict of Interest）とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適切な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反についてはそれぞれの施設の利益相反審査委員会で審査され、適切に管理されています。

■本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

■ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

■情報等が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者

国立病院機構大阪南医療センター

〒586-0008 大阪府河内長野市木戸東町 2-1

TEL0721-53-5761(代)

本田 千晴

研究責任者

国立病院機構大阪医療センター

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂 2 丁目 1-14

TEL(06)6942-1331(代)

和田 喜代子

研究代表者

大阪大学大学院医学研究科 保健学専攻

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-7

TEL(06) 6879-5111

老年看護学研究室教授

竹屋 泰